

72 タマシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Rostratula benghalensis

繁殖個体群:B 越冬個体群:— 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

本州中・南西部、四国、九州、沖縄では留鳥。兵庫県でも周年見られる。平地の水田、休耕田、ハス田、河川などの湿地に生息し繁殖する。主に甲殻類や貝類、昆虫類の幼虫、ミミズ類などを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、見島、佐渡、四国、九州、対馬、種子島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(明石市)、(西宮市)、(洲本市)、伊丹市、豊岡市、加古川市、三木市、(高砂市)、(三田市)、篠山市、丹波市、南あわじ市、(淡路市)、加東市、稲美町
※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては阪神・東播・西播・丹波地域に多数生息していた。圃場整備事業や河川改修、ため池の護岸工事などにより餌の減少や生息環境が失われ、個体数や分布域が急減している。県北部での観察記録も少ない。

保護上の留意点

営巣地が極めて減少しているため、現在繁殖期の生息が確認されているところでは、その生息環境の保全が必要。



写真提供:但馬野鳥の会